

報 雑

編集番号の変更

『人口問題研究』は本集より横組とすることになったが、これとともに従来何巻何号とよんでいた編集番号をも改めて昭和15年4月創刊以降の刊行冊数を追いつき第10巻第1—4号に当る本号を第60号とした。

昭和29年度人口学的総合調査の施行

わが国人口の社会的総再生産構造の究明に資することを趣旨として昭和28年度に始めて実施された『典型的社会集団の人口学的総合調査』は、昭和29年度においては、引きついで以下の諸地域を選んで実施された。

- 農村地域、
- 山形県最上郡安楽城村
- 〃 飽海郡中平田村
- 群馬県佐波郡東村
- 中小都市
- 群馬県伊勢崎市
- 職域集団
- 伊勢崎市内富士自動車工業株式会社

青ヶ島調査の施行

人口問題研究所では東京大学人類学教室、資源科学研究所等と協同し、昭和29年11月1—20日にわたり東京都下青ヶ島の総合調査を行った。調査の内容は極めて多岐にわたつたが、特に(1)血族結婚、(2)健康状態、(3)栄養労働、(4)衛生状態、(5)人口事情、(6)生活様式、(7)生活態度、(8)天然資源、(9)故郷などを中心事項として行われ、多くの成果をあげた。

定例研究報告会

- 前々号所載以後の定例研究報告会の報告題名は以下のとおりである。
- 昭和28・9・30—(1)一つの人口置換率について、(2)人口曲線の研究……………館 技 官
 - 昭和28・10・7—(1)工場従業員の産児調節に対する態度の分析……………小林 技 官
 - (2)工場従業員の社会的通婚圏について……………青木 技 官
 - 昭和28・10・14—帰朝報告……………上田 技 官
 - 昭和28・10・21—(1)初潮年令の低下傾向について(千葉県3町村の調査結果の分析)……………萩野 技 官
 - (2)奈良県下の産児調節の実情について(青森県下の高出生率村との比較)……………篠崎 技 官
 - 昭和28・11・4—東南アジアの人口の概況……………島村 技 官
 - 昭和28・11・18—(1)国際統計学会に出席して……………岡崎 技 官
 - (2)人口対策委員会の中間報告について……………本多 技 官
 - 昭和28・11・25—人口圧力と農民層の形成過程……………林 技 官
 - 昭和29・3・31—戦前戦後のわが国人口再生産構造の分析……………本多 技 官
 - 昭和29・6・23—同前(つゞき)
 - 昭和29・6・30—ジェロントロジーの二三の性格について……………館 技 官